

<本年度クラブ会長方針>

和をもって輪となり、話をもって和とする

承認 1985年2月12日 例会日 木曜日 12:30 例会場 名古屋東急ホテル  
会長 照井 栞 事務局 名古屋市中区栄4丁目6番5号 丸越ビル6F  
幹事 林 順治 電話 (052)251-0181 FAX (052)251-0337 〒460-0008  
URL http://www.nagoya-osu.org E-mail office@nagoya-osu.org

人類に奉仕するロータリー

<2016-17年度R.I.テーマ>  
R.I.会長 ジョンF. ジャーム

第1600回例会

平和と紛争予防

／紛争解決月間

平成29年2月3日(金)

節分例会(職場例会)

於 大須観音堂生院

出席計算数 会員 57名

49名中46名出席

出席率 93・88%

前々回出席率 94・00%

例会プログラム

★職業奉仕委員長挨拶

★節分のお話し

★米山奨学生挨拶・奨学金金授与

★乾杯

★次年度委員会配属発表

ゲスト

丹下富博さん(友人)

中里ゆうみさん

一宮 早苗さん

元名古屋大須RCC会員 松本 定道さん

米山奨学生 李 相赫さん

李相赫さん(婚約者) 全 京姫さん

ピクチャー

中部名古屋みらいRCC

幹事 伊藤 正樹さん

社会奉仕委員長 高橋 一吉さん

坪倉林太郎さん

ニコボックス

節分・立春と春の足音が一步一步



名古屋大須ロータリークラブ恒例「節分例会」

近づいて来ます。ありがたい。ありがたい。(笑顔) 照井 栞  
大須観音の節分会で厄を払って下さい。 岡部 快圓  
ご無沙汰しています。 元会員 松本 定道

岡部さんお世話になります。 林 順治・田崎 雅三

大原 敏正・岡田 尚彦

草野 勝彦・高木 政義

吉田 明夫・堀江 英弥

柴岡 正将・前田 隆久

岡村 隆徳・春日井和良

鬼頭 茂成・近藤宏一郎

酒井 修・川島 勇基

吉田 憲一・宇野 史仁

節分例会 1600回連続出席 浅野 彰

達成!! 中里さん、一宮さん節分例会によ

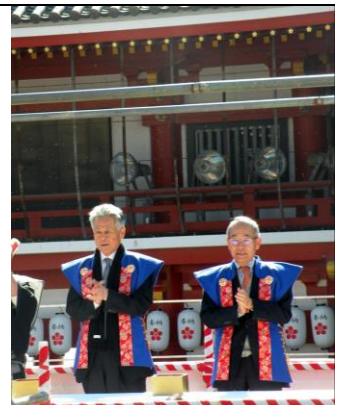
うこそ! 丹下 富博

新年会の福引で当たった宝くじが2000円当たりました。クラブに寄付します。(大変大変少額に頂きました。) 尾上 昇  
松本さん、李さんいらっしやいませ。 岩崎 征一  
春よこい 横井 衛  
今日は第1600回例会です。20年前の節分例会は599回でした。 小澤 幸男

会長挨拶 照井 栞

「節分例会」 名古屋大須RCC毎年恒例の例会と言えは「節分例会」です。「豆を撒き、岡部さんから節分のお話があり、立春を迎える」という季節の行事と例会がぴったり重なった自慢の例会になっています。この節分例会は1986年2月3日から始まりました。約30年前の節分と今とは、賑わいや大須の街の様子が変わっているかも知れませんが、「邪気や厄を払って新しい春を迎えよう。」という皆さんの気持ちは変わっていないように思います。

今回は第1600回目の例会ですが、チャーターメンバーの浅野彰さんは1985年2月14日の第1回例会から1600回の例会すべてに出席していらっしゃいます。今日からは2000回目の例会出席を目指していただきたいと思います。



名古屋大須RCCの「節分例会」がこれからも末永く続いていくことを願いつつ挨拶を結びます。

職業奉仕委員長挨拶

大上 晃延

職業奉仕委員長の大上でございます。今年も恒例となりました名古屋大須RCCの職場例会、節分例会へ大変多くの皆さまにご参加いただき誠にありがとうございます。また、大須観音任職の岡部さんには、毎年、大変お世話になっております。心よ感謝申し上げます。皆さまご存知かと思いますが、暦の上では明日は立春です。今日はしつかり厄を祓っていただき、すがすがしい気持ちで新しい季節を迎えていただければと思います。それでは、名古屋大須RCCの象徴ともいえるこの例会をお楽しみください。

節分のお話し

岡部 快圓

真言宗智山派の別格本山大須観

音(北野山眞福寺主座)は尾張四観音の中核に当たりの中心恵方として昔から知られて参りました。特に「福の神鬼追いの儀式」はその昔室町時代、殿中にて執り行われた儀式であり大須観音では節分ごとにこの儀式が行われて参り、2月3日の節分会には寺社総奉行・七福神布袋和尚・大黒天・弁財天・毘沙門天・恵比須の神・福祿寿・寿老人を率いた福の神が現れ、赤鬼・青鬼ともを追う厄除けの行事は又全国にその類を見ることができないものであります。福の神が捲く福豆と天にも轟く笑い声に赤鬼・青鬼ともは慌てふためいて退散し、この儀式は終わります。

尚、大須観音では、伊勢神宮の神人より開山能信上人に授けられた寺宝の鬼面を「本尊御宝前に祀り(一年に1日、節分の日のみ)加持祈禱を行い、参詣者皆様の厄難を払い、七難即滅・七福即生を祈るのであります。この鬼面をちなみ、「福は内」とのみ唱え「鬼は外」は禁句となっております。

本年の恵方は多子子の間、北北



西です。尚2月3日の節分会の行列は午後1時18分(御本尊の縁日18日)因みに栄の中江ビルの船宿をとし福の神宝船(大須丸)に乗った七福神・遠藤の会・古希の会・乗合会・ミヌ観音寺社総奉行などの「節分宝船行列」が栄小公園を出発し、南大津通りの・赤門通りの・新天地通りの・万松寺通りの・裏前町通りの・東仁王門通りの・仁王門通りをパレードして午後3時頃大須観音に到着し、本堂前の特設舞台にて福の神による「鬼追いの儀式」が挙行され、節分会のハイライトとなります。

尚節分前夜祭(今年は2月2日)には大須学区及び大須商店街の人達30名が、県庁・市役所・各報道機関などを巡って福の神の鬼追い儀式を演じて披露申し上げる事になって居ります。

**米山奨学生挨拶・奨学金授与**

米山奨学生 李 相赫



(原稿は次頁以降に掲載致します。)

乾杯 尾上昇

**次年度委員会配属 発表**

会長 エリクト 岡村 隆徳

**新入会員卓話(1月19日例会)**

「ジェルネイルで被災地支援」

輝く女性の世界へ」

竹林 正人

**ONE WOMEN キャンペーン**

ジェルネイル被災地支援

2011年3月11日14時46分死者・行方不明者18,455人もの犠牲者を出した東日本大震災が発生しました。あれから早、6年の月日が流れようとしています。我々は決意してこの大災害を風化してはならないと思います。

2014年6月、一通の手紙が被災地活動を当初から続けている国連(国連の友アンパシフィック)に、死者・不明者の率が一番高い陸前高田市のある仮設住宅に住まわれている女性の方より届きました。震災から3年の月日が流れ、3年間の口頃の感謝がつけられていく一方、一人の女性として震災前の生活に戻りたい夢が書かれていました。「おしゃねをして...」この言葉で仮設住宅に生活している女性の気持ちを察し、心のケアとは別に、美容・ファッションなどあらゆる方面での支援を検討する事になりました。

このように、過去の震災(2011年阪神淡路大震災、中越地震)の

データに基づき、被災後2年から3年で自殺者が急激に増える傾向にあると分析されており、その対策として、ストレス発散のため名球会による仮設住宅訪問や著名人による卓話、韓流スターの訪問、カラオケBOXカーの導入と歌手協会の訪問、WHO医師団によるストレスアミューゼ診断など行われていました。

私共株式会社ジュークにネイル支援を求められたのは、この一通の手紙のあと2014年10月より、国連の友を通じてでした。国連女性問題の第一人者(国連安理決議第1325号)であるアンソルル・チャウドリー国連永久大使、陸前高田市 大船渡市長より正式に仮設住宅内での「指先から綺麗になる」をテーマに支援を開催することになりました。被災者支援を受けている身でネイル(美容)などの警沢は支援者に申し訳ないという意見も出ましたが、反対に「こんなおしゃねができるまで元気になりました」と皆さんを安心させてあげてほしい、と思いを察していただきました。

それ以後毎月3名のネイルテクニシャンが仮設住宅集会場にてジェルネイルの施術を行ないました。毎月開催する場所は違えども、前回施術を受けた方が別の仮設住宅でもご参加いただき、二度目三度目と施術を受ける際の服装に明る

かに変化が出て女性のおしゃれを取り戻していくのがわかりました。一人のお子さんご主人を「この三年間一度も笑顔を見せたことがないAさんは、津波の引き潮の力に及ばず、握っていた子供の両手を放してしまった」「くい手」にジェルネイルを施し、他の仮設住宅の方々に見せていました。ある方は、施術後の自身の爪を写真に収め東京に任んでいる身内の方に写メールを送られています。また、WHO医師団も同行しアミューゼ検査を行い、ストレス指数が大幅に下がったとの報告も国連本部に報告されました。WHOのデータにより、「ジェルネイルはどんな医師よりもストレス削減の効果がある」と国連で発表され、国連主催の「ONE WOMEN」キャンペーンにも参加させていただきましたことになりました。

**2月16日(木)例会の案内**

新入会員卓話

- 「私の履歴書」伊藤 正明さん
- 「私の履歴書」川島 勇貴さん
- 「私のプロフィール」

神谷さつきさん

広報委員会

- 吉田 隆彦・杉浦 令淑
- 近藤 明美・伊藤 正明
- \*本文は、原則 頂いた原稿を転載しています。